

(四国地方整備局からのメッセージ)

◆◆◆四国地方整備局トピック 2017. 12. 11◆◆◆

\*\*\*\*\*

【 四国地方整備局 河川部長 植松 龍二 】

12月3日に、横瀬川ダム建設事業に伴うダム堤体の本格的な築造にあたり、関係者への謝意を表すとともに、礎石を添えてダムの永久堅固と安泰を祈願するために、定礎式を開催しました。あらためまして、貴重な用地を提供頂いた地権者、地域住民、関係機関の方々から多大なるご支援、ご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

さて、四国地方整備局においては、横瀬川ダムとともに、山鳥坂ダム建設事業を実施しており、また、鹿野川ダムと長安口ダムについて、肱川流域あるいは那賀川流域の洪水被害を軽減するとともに、流水の正常な機能の維持を図るため、改造事業を実施しております。さらに、平成30年度予算概算要求において、国土交通省として、早明浦ダム再生事業を要求しました。水資源機構を事業主体として、放流設備増設、容量振替等による治水機能の増強を行うもので、吉野川の浸水被害の軽減を目的としています。また、本事業は、国土交通省において、本年6月、「ダム再生ビジョン」の策定後の初となる新規事業として要求しています。ダム再生とは、ハード・ソフト対策の両面から、既存ダムの長寿命化、効率的かつ高度なダム機能の維持、治水、利水機能の回復・向上、地域振興への寄与など、既存ダムの有効活用を推進するものです。

引き続き、近年の洪水・濁水被害の頻発化や気象変動の影響の顕在化なども踏まえ、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に実施し、地域の安全・安心の確保、活性化を図るべく、取り組んでまいりますので、ご指導、ご支援頂きますよう、よろしくお願いいたします。

\*\*\*\*\*

四国地方整備局にて南海トラフ巨大地震を想定した総合防災訓練を実施しました

【 企画部 防災課 】

四国地方整備局において、「世界津波の日」（11月5日）の一環として、南海トラフを震源とする巨大地震を想定した総合防災訓練を実施しました。

開催日時：平成29年11月1日（水） 9:00～15:15

場 所：四国地方整備局（高松サンポート合同庁舎13階災害対策室）

訓練内容：

11月1日午前7:30に室戸沖を震源とするマグニチュード9.0の南海トラフ巨大地震が

発生した想定のもと、初動2日間の多様な各局面における基本動線を確認するための図上訓練を実施しました。また四国管内において、陸上自衛隊との共同訓練や応急組立橋架設訓練等の実働訓練を実施しました。

○災害対策本部における情報収集能力の模擬訓練

海上保安庁、JAXA、国土地理院、日本測量調査技術協会等の各機関からの情報や災害対策用ヘリコプター「愛らんど号」からの被災状況調査による情報収集訓練を実施しました。また、陸上自衛隊等関係機関にリエゾンとして訓練に参加いただきました。

○応援受援体制の確立

発災当日夜（発災から13時間後を想定）の第4回本部会議までの本部への報告、相談事項を情報として取扱い、各班が確認している被災状況報告や対応状況が報告し、体制の確立を実施しました。

○災害対策支部とのTV会議

災害対策支部から本部への報告訓練を現在3画面運用が可能な3事務所（四国山地砂防事務所、松山港湾・空港整備事務所、徳島河川国道事務所）とTV会議による報告訓練を実施しました。

○リエゾンとの調整による部隊調整

発災翌日夜（発災から35時間後を想定）の第7回本部会議までの本部への報告、相談事項を情報として取扱い、各班の対応状況やTEC-FORCEの広域進出拠点、進出拠点への人員配置や応援部隊の人員配置打診等の調整を実施しました。

本総合防災訓練では、上記図上訓練を実施するなかで、統合災害情報システム（DiMAPS）を活用した報告や関係機関との情報共有、TV会議の3画面運用等を取り入れ実践に備えた訓練を実施しました。

発災初動時には限られた情報の中で、関係機関の情報も最大限活用し、四国地方整備局として何を対応すべきか検討する必要があります。今回の訓練で明らかとなった課題を改善すると共に、継続した訓練により、大規模災害に備えた災害対応の実効性向上に努めてまいります。

\*\*\*\*\*

国土技術研究会で3名が優秀賞を受賞しました

【 企画部 企画課 】

11月13・14日の2日間、平成29年度国土交通省 国土技術研究会が、中央合同庁舎2号館において開催されました。四国地方整備局から6題が参加し、そのうち3題が『優秀賞』を受賞いたしました。

全国の地方整備局等や自治体などから、一般部門＜安心・安全Ⅰ＞14題、一般部門＜安心・安全Ⅱ＞13題、一般部門＜活力＞14題、イノベーション部門Ⅰ11題、イノベーション部門Ⅱ11題、アカウンタビリティ部門10題、ポスターセッション14題の計87題の発表がありました。

【一般部門（安全・安心Ⅱ）優秀賞】

長安口ダム改造工事における堤体切削とダム本体の挙動について  
那賀川河川事務所 開発工務課 竹内 大輝

【一般部門（安全・安心Ⅰ）優秀賞】

老朽化排水機場の信頼性向上に向けた取り組み

徳島河川国道事務所 防災課 中川 貴文

【アカウントビリティ部門 優秀賞】  
CIMモデルを活用した江尻地区かわまちづくり  
高知河川国道事務所 工務課 氏原 暁歩

なお、発表論文は四国地方整備局HPに掲載しております。  
<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/kenkyu/>

\*\*\*\*\*

新猪ノ鼻トンネル工事の現場見学会を実施しています

【 香川河川国道事務所 】

平成27-31年度新猪ノ鼻トンネル工事は、新猪ノ鼻トンネルの香川県分（掘削延長2803m、工期：平成28年2月2日から平成31年8月30日まで）の工事です。工法はNATM工法（発破掘削）で、平成29年11月16日現在で約1532mの掘削が完了（全掘削延長の約55%）しております。トンネル坑内からの残土搬出は、安全性の向上と作業の効率化を考慮し、ベルトコンベアを使用しています。

新猪ノ鼻トンネルの工事現場では、インフラツーリズム等による工事現場見学を適宜、実施しており、一般見学者数は、平成29年11月16日時点で1,582名（延べ49回）となっています。平成29年7月23日（日）に実施した財田町内の近隣住民を招いた見学会では、7歳から94歳までの約200名の方々に参加いただき、ドリルジャンボ等のトンネル専用の重機見学では、歓声上がるなど大好評でした。また、香川高等専門学校（平成29年11月12日（日））や日本建設業連合会（平成29年7月22日（土））が主催の親子見学会、土木工学専攻の学生等の見学会も開催しており、工事中のトンネル内部や特殊な工法を体感していただき、建設産業への魅力をPRしています。

\*\*\*\*\*

鹿野川ダム改造事業の1年

【 山鳥坂ダム工事事務所 】

肱川下流域における洪水被害の軽減と河川環境の改善を目的として鹿野川ダム改造事業を実施しています。昨年末に選択取水設備が完成し、残りの工事はトンネル洪水吐の呑口部と吐口部の施工となっています。

事業終盤となったこの1年間、多くの方に工事現場を見学いただきました。  
（12月6日時点で97回、1,422名）

○鹿野川湖で愛（え）顔（がお）つなぐえひめ国体

第72回国民体育大会は愛媛県では初の単独開催となり、県内各地で熱い戦いが繰り広げられました。鹿野川湖では、10月1日から4日間の日程でカヌースプリント競技が開催されました。鹿野川ダム改造事業で湖面上に迫り出して設置している仮設構台上には特設の観戦スタンドが設けられ、全国トップレベルの戦いに大勢の人が熱い声援を送っていました。

○鹿野川ダムトンネル洪水吐 吐口ゲート設備完成

トンネル洪水吐からの放流量を調整する主ゲートとメンテナンス用の副ゲート（各2門）が9月29日に完成し、それを記念して10月7日に地元の方を対象とした「吐口ゲート設備完成見学会」を開催しました。2度と体験できないであろう、トンネル内部に入り真っ暗な状態から主ゲートが開き光が差し込んでくる瞬間を体験していただきました。

\*\*\*\*\*

高松空港整備事業 滑走路、エプロン及び構内道路の改良工事を実施しています

【 高松港湾・空港整備事務所 】

平成元年に開港した高松空港は、現在国内線3路線、国際線4路線の計7路線が就航しています。

当事務所では、整備から年数が経過している基本施設の老朽化対策を実施しており、今年度は滑走路、小型機エプロン及び構内道路の舗装改良工事を実施しています。

滑走路については、平成27年より実施している舗装改良工事が今年度で完成し、全長2,500mの滑走路舗装が一新されます。また、小型機エプロンについては平成5年の新設以来、構内道路改良工事については平成元年の開港以来、全面的にリフレッシュされて高松空港の玄関口がきれいになることで、年間185万人（内、国際線23万人）の利用者が気持ちよく利用されることと思います。

高松空港は平成30年4月から民間による運営事業を開始する予定です。

\*\*\*\*\*

四国地方整備局HP

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

四国地方整備局Facebook

<https://www.facebook.com/shikokuchisei/>

\*\*\*\*\*

自治体担当者様におかれましては、首長ご本人への転送とあわせて、職員の方への周知もお願いいたします。

「いきいき四国通信」に関するご意見、配信中止・配信先変更のご希望等がありましたら、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

国土交通省 四国地方整備局 企画部 「いきいき四国通信」事務局

<mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp>

\*\*\*\*\*